

科目名	解剖生理学Ⅲ(内臓系)					授業の種類	講義	必修・選択		必修
授業回数	15	回	時間数	30	時間	2	単位	配当学年時期	1年	前期
【授業の目的・ねらい】 正常な人体における、内臓の構造と機能について理解し説明できるようになる。正常を正しく理解することで、その後の病理学、内科学などの疾患学理解の基盤的知識を養う。										
【実務者経験】										
【授業全体の内容の概要】 内臓の構造・機能について、細胞、血液、循環器系、呼吸器系、消化器系などを主に学習する。										
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 内臓の構造と機能について、正常な状態を正しく理解し、自分で説明できるようになる。 後の授業で行われる、病理学、内科学などの疾患学理解に必要な基盤的知識を身につける。										
回数	講義内容								準備物(教材)	
1	細胞とその機能									
2	血液とリンパ①									
3	血液とリンパ②									
4	循環器系①									
5	循環器系②									
6	循環器系③									
7	心臓①									
8	心臓②									
9	心臓③									
10	呼吸器系①									
11	呼吸器系②									
12	呼吸器系③									
13	消化器系①									
14	消化器系②									
15	まとめ									
定期筆記試験										
【使用教科書・教材・参考書】 標準理学療法学・作業療法学 解剖学第4版 野村 巖 医学書院 標準理学療法学・作業療法学 生理学第5版 岡田隆夫 医学書院 プロメテウス解剖学コアアトラス 坂井建雄監訳 医学書院										
【準備学習・時間外学習】 小テストのための復習・学習										
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】										
試験の結果を100点満点として成績を評価する 試験は小テスト50点、定期試験50点として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。										